

## 安全データシート

ページ: 1/10

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 19. 03. 2024

製品: Ludipress® / ルディプレス

バージョン: 4.1

(30034982/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 14.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

**品名:**

Ludipress®

ルディプレス

用途: 補助薬

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

**【化学品のGHS分類】:**

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

**【GHSラベル要素】:**

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:  
摩耗によって生成される微細粉塵は空気と爆発性混合物を形成する。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 19. 03. 2024

製品: Ludipress® / ルディプレス

バージョン: 4.1

(30034982/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 14.10.2025

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

記載の物質に基づく調剤:

架橋

有害性は特になし。

### 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。

### 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 粉末, 泡, 二酸化炭素

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

炭素酸化物, 窒素酸化物, 有害な蒸気

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。粉塵爆発の危険性あり。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。容器を噴霧水で冷却する。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

粉塵を発生させない。保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。粉塵を発生させないこと。

[追加情報]: 粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

粉塵を発生させない。粉塵が発生した場合には換気を行うこと。

安全取扱注意事項:

粉塵を発生させない。本品は粉塵爆発を起こす危険性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。光の影響を受けないようにする。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

#### 【保護具】

[呼吸用保護具]:

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。固体粒子に対して低効率の微粒子フィルター（例：EN 143 P1型もしくはEN 149 FFP1型）。

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋を着用すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル)（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

保護具は作業と暴露レベルに応じて選定選択すること。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。上下一体型作業衣の着用が望ましい。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業服は、他の物と分けて保管すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

|          |                |
|----------|----------------|
| 物理状態:    | 粒状固体           |
| 色:       | 白色             |
| 臭い:      | 無臭             |
| 臭いのしきい値: | 適用せず、臭気を知覚できない |

|     |        |
|-----|--------|
| pH: | データなし。 |
|-----|--------|

|     |           |
|-----|-----------|
| 融点: | > 210 ° C |
|-----|-----------|

|     |      |
|-----|------|
| 沸点: | 適用せず |
|-----|------|

|      |                 |
|------|-----------------|
| 引火点: | 該当しない、製品は固体である。 |
|------|-----------------|

|      |                  |
|------|------------------|
| 蒸発率: | この製品は、不揮発性固体である。 |
|------|------------------|

|              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 可燃性 (固体/ガス): | 可燃性低い。(VDI 2263, sheet 1, 1.1) |
|--------------|--------------------------------|

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 爆発下限界: | 分類と表示に関係しない固体用に関するものである。 |
|--------|--------------------------|

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 爆発上限界:                      | 分類と表示に関係しない固体用に関するものである。                          |
| 自然発火温度:                     | 該当しない、製品は固体である。                                   |
| 熱分解:                        | 約 215 ° C (DSC (DIN 51007))                       |
| 自己発火性:                      | 構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。                        |
| 自己発熱性:                      | UNクラス 4.2 の自然発火性物ではない (VDI 2263, sheet 1, 1.4.1)。 |
| 爆発危険有害事項:                   | 製品は、爆発性ではないが、空気と塵の混合により粉塵爆発の可能性がある。               |
| 火災を引き起こす性質:                 | 構造的長に基つき、製品は酸化剤に分類されない。                           |
| 蒸気圧:                        | 無視できる   |
| 密度:                         | 絶対密度に関する情報なし。代わりに、嵩密度を最も関連性の高い値として測定。             |
| 嵩密度:                        | 350 - 450 kg/m <sup>3</sup>                       |
| 相対ガス密度 (空気):                | 適用せず  |
| 水に対する溶解性:                   | 一部可溶  |
| 溶解度 (定性的) 溶媒:               | 有機溶媒<br>不溶  |
| n - オクタノール/水分配係数 (log Pow): | 混合物には適用されない                                       |
| 粘度:                         | 該当しない、製品は固体である。                                   |

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第 7 項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。粉塵を発生させない。静電気防止措置をとる。

熱分解: 約 215 ° C (DSC (DIN 51007))

## [混触危険物質]:

大気中水分, 強酸化剤

## 金属の腐食:

金属に対する腐食性はないと予測される。

## [危険有害な分解生成物]:

この製品は爆発性の微細粉塵を含んでいることがあり、輸送又は製品の移転中の磨耗でそのような粉塵が形成されることもある。指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## [危険分解物]:

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

## 化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

## 反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): &gt; 2,000 mg/kg (BASF試験)

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

#### 急性吸入毒性

実験または計算によるデータ:

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): &gt; 5.2 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

#### 症状

(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

#### 刺激性

刺激性作用の評価:

眼及び皮膚に対して刺激性なし。

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

実験または計算によるデータ:  
皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (Draize試験)

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体  
実験または計算によるデータ:  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (Draize試験)

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:  
データなし。

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:  
変異原性に関するデータはなし。

### 発がん性

発がん性の評価:  
発癌作用に関するデータはなし。

### 生殖毒性

生殖毒性の評価:  
データなし。

### 発生毒性

催奇形性の評価:  
発生毒性に関するデータなし。

### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

注意: データなし。

### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:  
データなし。

### 誤えん有害性

適用せず

### その他該当する毒性情報

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) > 10,000 mg/l, ウグイ (学名 *Leuciscus idus*) (DIN 38412 第15部, 止水式)

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

微生物/活性汚泥への影響:

EC20 (20%影響濃度) (0.5 h) > 1,995 mg/l, 工業廃水由来の活性汚泥 (OECDテストガイドライン 209, 好気性)

### 移動性

環境区分間の輸送評価:

測定されていない。

### 残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

水からの除去困難。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合体

除去情報:

< 10 % DOC減少 (15 日) (OECDテストガイドライン 302B) (好気性, 工業廃水由来の活性汚泥) 水からの除去困難。

### 生体蓄積性



BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 19. 03. 2024

製品: Ludipress® / ルディプレス

バージョン: 4.1

(30034982/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 14.10.2025

生体蓄積性の可能性評価:  
製品は未試験である。

記載物質に関する情報: 1-ビニル-2-ピロリドン重合物

生体蓄積性:

構造的特性から、ポリマーは生物学的に利用可能ではなく、生体蓄積性はないと考えられる。

-----

**[追加情報]**

その他の環境毒性情報:

本品は未試験である。環境毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

**13. 廃棄上の注意**

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

[汚染された容器]:

汚染されていない容器は再利用できる。

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

**14. 輸送上の注意****国際陸上輸送:**

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危

険有害性クラス）: 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

**海上輸送**

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されてい

ない  
国連番号もしくはID番 非該当号:  
品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における 非該当

危険有害性クラス）:

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

海洋汚染物質: 非該

**Sea transport**

IMDG

Not classified as a dangerous good under

transport regulations  
UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping Not applicable

name:  
Transport hazard Not applicable

class(es):

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable

Marine pollutant:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 19. 03. 2024

製品: Ludipress® / ルディプレス

バージョン: 4.1

(30034982/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 14.10.2025

|  |           |   |                  |
|--|-----------|---|------------------|
| 使用者への特別注意事項  | 当<br>知見なし | Special precautions for user  | no<br>None known |
| <b>航空輸送</b><br>IATA/ICAO<br>輸送規則では危険有害性物質に分類されていない<br>国連番号もしくはID番号:<br>品名（国連輸送名）:<br><br>国連分類（輸送における危険有害性クラス）:<br>容器等級:<br>環境有害性:<br>使用者への特別注意事項 |           | <b>Air transport</b><br>IATA/ICAO<br>Not classified as a dangerous good under transport regulations<br>UN number or ID number:<br>UN proper shipping name:<br>Transport hazard class(es):<br>Packing group:<br>Environmental hazards:<br>Special precautions for user |                  |
| 非該当  |           | Not applicable  |                  |
| 非該当  |           | Not applicable  |                  |
| 非該当  |           | Not applicable  |                  |
| 非該当  |           | Not applicable  |                  |
| 非該当  |           | Not applicable  |                  |
| 知見なし   |           | None known  |                  |

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

## 15. 適用法令

消防法: 非危険物

### その他の規則

## 16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。